

【開催概要】

天空の城ラピュタ 火垂るの墓 もののけ姫 時をかける少女

日本のアニメーション美術の創造者

山本二三展

2020 4.4 sat. - 6.7 sun.



天空の城ラピュタ《荒廃したラピュタ》 1986年 ©1986 Studio Ghibli

広報
画像 ①

佐川美術館（所在地:滋賀県守山市）では、春季企画展「日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女」を開催いたします。

アニメーション映画の美術監督・背景画家として、数々の名作に携わってきた山本二三（やまもとにぞう）。24歳の若さで宮崎駿監督の「未来少年コナン」の美術監督に抜擢され、その後「天空の城ラピュタ」、「火垂るの墓」、「もののけ姫」、「時をかける少女」などの美術監督を務め、日本のアニメーション界をけん引する存在として、今日まで活躍を続けています。本展は、山本自選の手描きの背景画、スケッチ、イメージボードなど、初期から最新作まで約230点を展示します。名作アニメの名シーンを支え、同時に物語世界に説得力を与えてきた、背景画の魅力をご紹介します。

展覧会実施概要

- ◆名称：「日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女」
- ◆会期：2020年4月4日[土]～6月7日[日]
- ◆開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ◆休館日：月曜日（5/4は開館）、5/7
- ◆入館料：一般¥1,000（¥800）／高大生¥600（¥400）（ ）内は20名以上の割引料金
中学生以下は無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
※ 障害者手帳をお持ちの方（手帳をご提示ください）、付添者（1名のみ）無料

[主催] 佐川美術館（公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団）

[後援] 滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会、BBCびわ湖放送

[特別協力] 絵映舎 [企画協力] 神戸新聞社

[協力] SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

■ 作家紹介

山本二三(やまもと にぞう)

アニメーション映画の美術監督・背景画家



- 1953(昭和28)年 長崎県五島市に生まれる。
- 1978(昭和53)年 NHKのTVシリーズ「未来少年コナン」(宮崎 駿演出)で、美術監督として抜擢される。
- 1986(昭和61)年 「天空の城ラピュタ」(宮崎 駿監督)公開。第41回 毎日映画コンクール 大藤信郎賞等を受賞
- 1988(昭和63)年 「火垂るの墓」(高畑 勲監督)公開。
シカゴ国際児童映画祭・最優秀アニメーション映画賞、モスクワ児童青少年国際映画祭・グランプリ等を受賞。
- 1990(平成2)年 自身の事務所「シネマ・アート・クラブ」を創設。翌年「絵映舎」と改名。
- 1995(平成7)年 山本二三と美術スタッフが、アニメーション美術家連盟から「AAA賞」受賞 作品「Coo 遠い海から来たクー」(1993年)
- 1997(平成9)年 「もののけ姫」(宮崎 駿監督)公開。第1回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞を受賞
- 2005(平成17)年 (有)絵映舎設立。
- 2006(平成18)年 美術監督として第12回 AMD Award'06 大賞の総務大臣賞を受賞 作品「時をかける少女」(細田 守監督)
- 2009(平成21)年 「川の光」(平川哲生監督)放送。アメリカ国際ビデオ・フィルムフェスティバル2010
エンターテインメント部門ベスト・オブ・アワーズ(Best of Awards)およびゴールド・カメラ(Gold Camera)受賞
- 2010(平成22)年 故郷を100点描くライフワーク「五島百景」を描きはじめる。
- 2011(平成23)年 「日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展」を神戸市立博物館で開催(以後、30箇所を越え全国巡回中。)
- 2012(平成24)年 「山本二三 背景画集」出版。(廣済堂出版)
- 2013(平成25)年 「山本二三 風景を描く」出版。(美術出版社)
- 2015(平成27)年 「DVD付き絵本 希望の木」(原作・文 新井 満/絵 山本二三)出版。(東京法令出版)
- 2018(平成30)年 「山本二三百景」出版。(柘出版)
- 2018(平成30)年 故郷の長崎県五島市に「山本二三美術館」がオープン
- 2019(令和元)年 「天気の子」(新海 誠監督)公開。気象神社の天井画等を手掛ける。



広報
画像 ②



広報
画像 ③

左から もののけ姫《シン神の森(2)》1997年 ©1997 Studio Ghibli・ND

DVD付き絵本 希望の木 《希望の木》2015年 ©2015 Mann Arai&Nizo Yamamoto, Printed in Japan

火垂るの墓《火炎》1988年 ©野坂昭如/新潮社, 1988

みどころ

■ アニメーションに欠かせない背景画の魅力を余すことなく紹介

アニメーションというと、キャラクターのビジュアルや物語の内容がどうしても目立ちますが、背景画(アニメーションにおけるキャラクター以外のバック絵)はアニメーション制作の過程において必要不可欠な美術部門を担っています。アニメーションにおける背景画の意義について、かつて山本と一緒に仕事をしたことがある、アニメーション映画監督の故・高畑勲は次のように語ります。「アニメーションには不思議なリアリズムがある。それはいろいろなスタッフが力を出した、支え合いの結実であり、それが成功した時にリアルさが生まれるのだ」と。何十人、何百人、時には何千人ものスタッフがかかわるアニメーションの世界。そこに携わる全ての要素がうまくあつたとき、人々を感動させる名作が誕生します。私たちの記憶に残るアニメーションの名シーン、そこには全ての技術の結晶が詰め込まれ、その中の重要なポストとして背景画が存在することで、私たちの脳裏に忘れられない情景を植え付けるのです。

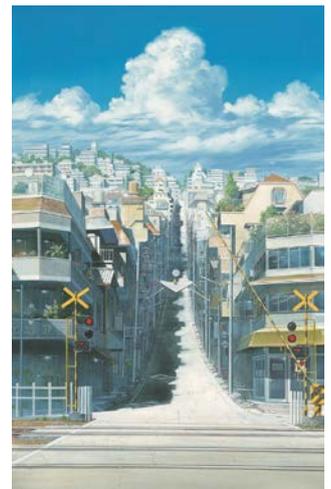


広報
画像 4

■ 山本二三が手がける水と雲の表現に注目

物語の舞台を丹念に取材、あるいは設定し、実在しない空間の温度や空気感までも描き上げる緻密な仕事、そして卓越した水と雲の表現は山本二三の評価を不動のものにしています。

中でも山本が描く雲は「二三雲」と呼ばれており、単に背景の一部を構成するだけに留まらず、場面の空気感や登場人物たちの心情を表現することがあります。特に、山本が美術監督を務めた「時をかける少女」では、「空」と「雲」の表現が主人公・真琴の気持ちを巧みに表していると評価されており、描かれたわき立つ積乱雲は物語の象徴ともいえ、真琴の高揚する思いが雲を通して描かれています。背景画がアニメーションにどれだけ必要なのか実感することができる一枚です。



広報
画像 5

■ 佐川美術館限定作品も登場



広報
画像 6

今回の展覧会開催に合わせて描き下ろされた新作『^{うづき}卯月の琵琶湖』を特別公開します。

開催地・滋賀にちなんだ、当館にも馴染みの深い琵琶湖が描かれた風景画です。こちらも必見となりますので、ぜひご覧ください。

上から ファンタジックチルドレン《寺院》2004年 ©TAKASHI NAKAMURA/NIPPON ANIMATION CO., LTD. ・ FC PROJECT 2004.

時をかける少女《踏切》2006年 ©「時をかける少女」製作委員会 2006

《卯月の琵琶湖》2020年 ©山本二三

音声ガイド

声優・田中真弓さん(天空の城ラピュタ・パズー役、ONE PIECE・ルフィ役)による作品解説と、山本二三氏ご本人が語る制作エピソードをお楽しみいただけます。「観る」だけでなく、「聴く」ことでさらに楽しむことができる音声ガイドを、ご来場の際にぜひご利用ください。

貸出料金：1台 ¥600(税込)

ガイド制作：(株)カセットミュージアム

イベント情報

山本二三氏ご本人が出演するイベントを開催します。より深く、よりリアルに、山本二三氏のアニメーションの世界を堪能できます。ぜひご参加ください。

4/4(土) 山本二三 トークショー&サイン会**①トークショー**

- 時間：14:00～(45分)
- 定員：100名(先着)
- 参加費：無料 ※ただし入館料は必要

②サイン会

- 時間：15:00～
- 定員：50名(先着) 当日、本展図録を購入された方に整理券を配布いたします。

4/5(日) 山本二三 デモンストレーション「背景画を描く」

- 時間：14:00～(45分)
- 定員：100名(先着)
- 参加費：無料 ※ただし入館料は必要

**4/25(土) ミュージアムコンサート**

Music by 木管アンサンブル はなり

- 時間：①11:00～ ②15:00～
- 定員：各回100名(先着)
- 参加費：無料 ※ただし入館料は必要

5/9(土) 自由参加制ワークショップ

イベント詳細・参加方法については当館ホームページにて決まり次第お知らせします。



●広報用写真について

本プレスリリース中に掲載している画像データ(**広報画像と記載されているもの**)をご用意しております。画像データをご希望の方は、同封の **作品画像使用申込書(プレゼント用招待券申込付)** に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

当館ホームページ(<http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/press/>) から画像申請も受け付けております。

その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会の広報以外でのご使用はお断りしております。トリミングなどの画像の加工はご遠慮ください。また、申込書に記載しておりますキャプションの表記もお願い致します。

●プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効の **ご招待券を10枚** までご提供させていただきます。

ご希望の方は同封の **作品画像使用申込書(プレゼント用招待券申込付)** に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

◆交通のご案内:

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由 (約 30 分)
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由 (約 30 分)
- 名神京都東 IC から湖西道路 (真野 IC)・琵琶湖大橋経由 (約 30 分)

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス 「佐川美術館」下車 (約 35 分)
- JR 湖西線堅田駅から路線バス 「佐川美術館」下車 (約 15 分)

◆連絡先◆

佐川美術館 (公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団)

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891

TEL:077-585-7800/FAX:077-585-7810

企画担当学芸員 : 馬場 まどか(ばば まどか)

m_baba004@sagawa-artmuseum.or.jp

